

「山陰新聞文芸記事総覧」の作成に向けて

島根県立島根女子短期大学
寺 本 喜 徳

出雲市塩冶生れの俳人原石鼎は、簸川中学在学中から作句に熱中するかたわら小説家になる夢も抱いていた。自筆年譜には、明治41年春離郷した際、〈置土産に句と作文を物し、〉〈此時、始めて石鼎と号〉したと記している。しかし、長い間その〈作文〉の存在を確認することができなかった。

平成2年、卒業研究に「山陰新聞」文芸記事の調査を選んだ県立女子短大國文専攻1期生の一人が、明治41年1月31日の同紙上に「難破船」と題する原石鼎名の短編小説を発見した。これが〈置土産〉の作品だとして地方紙上に報じられ、一時話題を呼んだ。この他にもいくつかの新しい発見があり、明治期の山陰文芸の動向を如実に伝える「山陰新聞」の文芸史的価値が明らかになった。

「山陰新聞」は、明治15年という創刊の早さと資料的価値の高さによってマイクロフィルムに収められている数少ない地方紙である。学生たちは、県立図書館に所蔵されているマイクロフィルムをマイクロリーダーにか

けて一面ずつ拡大し、そこに掲載してある文芸記事の題目を抜き出した後、著者名索引を作成するという作業に挑んだ。この作業がいかに根気と時間を要するものであるかは、一度試みた人ならご承知のはずである。

幸いにも、この難作業は後輩学生に次々と引き継がれていって、5年間で明治期の調査を一通り終えることができた。平成6年度からは見直し作業に入っており、終われば「山陰新聞文芸記事総覧」と題して活字にする見通しも立った。紙面順に文芸記事の題目名と著者名を転載して小説・随筆・評論・新体詩・短歌・俳句等の類別の注記を施し、それらを著者名によって検索できるようにするために、学生たちは日夜作業に励んでいる。

原石鼎の「難破船」は偶然の発見であったが、索引があったらたちどころに確認できたはずである。「山陰新聞文芸記事総覧」の作成が、明治期の山陰文芸の扉を開く鍵になるとともに、当地域の文芸活動を促す契機の一つになればと願っている。

講座名	万葉集を読む会	出雲国風土記を読む会	古文書を	
			近世	
開催日	毎月第2木曜日	毎月第2金曜日	毎月第1土曜日	
時間	14:00～16:00	13:00～15:00	14:00～16:00	
講師	島根大学名誉教授 小原 幹雄	島根県立八雲立つ風土記の丘所長 藤岡 大拙	平田市立図書館長 藤澤 秀晴	島根県立図書館長 藤澤 秀晴
募集人員	50名	80名	50名	
対象	一般	一般	一般	
内 容	現存する最古の歌集「万葉集」の解説と鑑賞を行います。 原文の解説にとりくみつつ古代文化の精髓にふれる講座です。 テキスト 「万葉集三」 新潮日本古典集成 新潮社発行	わが国でただひとつ完本として残っている「出雲国風土記」を講読しながら古代出雲の実相を把握し郷土のもつ深い歴史性を理解する講座です。 テキスト 「出雲国風土記」 加藤義成 著 報光社発行	郷土に関する近世の古文書をテキストに読解や当時の郷土を知る講座です。 テキスト 毎月当館で印刷 代金は6ヶ月分	

●会場—県立図書館集会室 ●受講料—無料 ●申込み方法—はがきか電話で「受講希望講座名、住所、氏名、電話番号」を島根県立図書館へ送付

平成8年度 館内資料展示計画 (展示場所：1階ホール)

月	テーマ	月	テーマ
4	新入生に贈る本	10	技能五輪にちなんで
5	最新アジアの資料	11	山陰を舞台にしたミステリー
6	「海の日」にちなんだ資料展	12	社会を騒がせた事件の本
7	オリンピックに関する資料展	1	新しい作家が描く子どもの本
8	宮澤賢治生誕100年を迎えて	2	世界の神話と歴史を探る
9	温泉に関する資料展	3	今年の受賞作品展

読む会 中世	図書館成人読書会	子どもおたのしみ会	親子で絵本を読む会
毎月第3土曜日	毎月第2火曜日	毎月第4土曜日	毎週水曜日
13:30～15:00	13:00～15:00	10:00～11:30	15:00～15:40
立 つ 風土記の丘所長 藤岡大拙		県立図書館職員・ボランティア	県立図書館職員
50名	50名	30名	フリー
一般	一般	小学校低学年	幼児、小学生とその親
主に中世の古文書を キストに読解はもと り史料の背景をなす 土の歴史に及ぶ講座 です。 したもの に500円	参加者がグループを 編成し、各グループ毎 に同一本を読み意見の 交換をします。グルー プで話し合うことで人 生や社会に対する見方 や考え方が豊かになり、 個人の読書生活が深ま ります。 テキスト 成人読書会用図書	絵本の読み聞かせに 紙芝居、手遊び、工作 等を交えた楽しい催し です。本があって、そ こから広がる楽しさ、 喜びを引き出します。	当館職員による絵本 の読み聞かせをします。 親子で集団読み聞か せの楽しさを味わい、 絵本に親しみます。

県立図書館奉仕係（TEL 0852-22-5734）まで

平成28年度 新規事業

◆郷土文献情報検索システムの開発

郷土に関する新聞記事の検索システムを前年度につづいて開発し、記事データの入力作業を行います。直接利用者が端末で検索できるのは、年度の後半になる予定です。なお郷土の雑誌記事につきましては、すでに検索が可能です。

◆県内図書館職員等の研修

従来から行って来た子ども読書研修会と、県内図書館関係職員の資質向上をめざす職員

研修を更に充実して開催します。また、未設置町村を主たる対象として、生涯学習に重要な施設である公共図書館を設置するよう、はたらきかけます。



「読む 知る 考える きみも三冠王」

行事予定

4月



1 月 休館日	2 火	3 親子で 絵本を読む会 15:00~15:40	4 木	5 金	6 古文書を 読む会(近世) 14:00~16:00
7 日	8 休館日	9 成人読書会 13:00~15:00	10 親子で 絵本を読む会 15:00~15:40	11 万葉集を 読む会 14:00~16:00	12 出雲国風土記 を読む会 13:00~15:00
14	15 休館日	16	17 親子で 絵本を読む会 15:00~15:40	18	19
21	22 休館日	23	24 親子で 絵本を読む会 15:00~15:40	25	26
28	29 休館日 みどりの日	30 休館日	  		

○館内展示…新入生に贈る本

5月



1 親子で 絵本を読む会 15:00~15:40	2 木	3 金 休館日 憲法記念日	4 土 休館日 国民の休日
5 日 休館日 こどもの日	6 月 休館日 振替休日	7 火	8 親子で 絵本を読む会 15:00~15:40
12	13 休館日	14 成人読書会 13:00~15:00	15 親子で 絵本を読む会 15:00~15:40
19	20 休館日	21	22 親子で 絵本を読む会 15:00~15:40
26	27 休館日	28	29 親子で 絵本を読む会 15:00~15:40
			30
			31 休館日

○館内展示…最新アジアの資料

※各種講座は講師の方の都合により変更する場合があります。

利用案内

●休館日

毎週月曜日・国民の祝日
毎月末日(月末が日曜日にあたるときはその前日)
年末年始 12月28日~1月4日
図書整理休館(春・秋、それぞれ10日間)

●開館時間 9時~18時

子ども室は火曜日~土曜日は13時~18時
ただし、小・中学校の週5日制導入にともない、
第2土曜日・第4土曜日・春・夏・冬休み期間中は
午前9時から開きます。

●貸出し

冊数…5冊以内
期間…15日

編集発行 島根県立図書館 松江市内中原町52 TEL0852-22-5725

発行日 平成8年3月30日

FAX0852-22-5728